

関連項目：教育活動プラン③、④

交流活動の中で、互いの思いや考えを伝え合う

目的

本校の児童は、明るく素直であるが、自主的に学びを広げたり深めたりする積極性や自分の考えを発信する態度や力に課題が見られる。そこで、様々な人々と交流する活動を取り入れる中で、相手の立場に立った言動をし、思いや考えを伝え合うことのできる児童の育成を目指している。

内容

● 縦割り班（異年齢集団）を編成しての交流活動

「パワーアップの時間」・・・週1回実施。3学期は縄跳び活動に挑戦している。異学年でペアになり、各自の目標に向かって記録を伸ばしている。5年生は、2年生の跳んだ数を数えたり、跳び方を教えたりと、上学年の児童にとっても、自己有用感を持ち達成感を味わえる活動となっている。

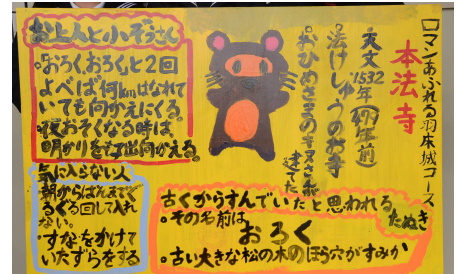
「給食活動」・・・1～6年までの6グループに分かれ（学期ごとに編成）、協力しながら配膳・食事・片付け・掃除を行っている。上学年は自分の役割や立場を意識した責任ある言動が取れるようになってきている。下学年はグループの一員として仕事を確実に果たしつつ、集団の中で役立っている自分に気付き、上級生の行動を見ながら集団生活に必要なきまりや自制する心も学ぶことができている。弁当の日やお花見・紅葉給食などは、異年齢での楽しいふれあいの時間となっている。

● 地域の人々とつながる総合的な学習の時間や生活科の時間

「お米をそだてよう」（1・2年）・・・地域の方の協力を得て、年間を通じてお米づくりを体験している。継続した活動を続ける中で、植物の成長の変化や発見・不思議さ等に気付くとともに、自然への畏敬や生命の大切さを感じている。地域の方とも活動を重ねる中で顔なじみになり、ほほえましい交流がもてている。

「地域の史跡看板づくり」（3・4年）・・・地域の史跡や文化を学習素材にして、地域の看板作りをする活動である。地域を知り情報を発信していくことの重要性を実感し、地域の人やものに積極的に働きかけている。聞き取り調査等で地域の人に話を伺ったり、調べたことを地域の人に伝えたり、コミュニケーションも、しっかり図られている。

「野菜を育てよう」（5・6年）・・・休耕田を利用し玉ねぎ、ジャガイモ、白菜、大根、そば等を作っている。種まきから収穫まで地域の環境保全会の方に指導していただき、さらには、白菜や大根を使つての漬物作りやそば打ち、うどん作り等を実践している。グループで相談しながらの作業や活動の機会があり、友達の考え方やよさを認め合う場となっている。



● 授業の中でのペア学習やグループ学習の推進

学習形態を工夫し、「聞くこと」「話すこと」をつなぐ交流の活動（ペア学習、グループ学習、学級全体での活動）を学習過程の中に取り入れている。特に国語科では、学年に応じた話し方や聞き方、書き方のスキルを習得する学習を重視しそれらを活用する場を意識した学習を進めている。場面に沿って、具体的な表現を用いて思いや考えをしっかりと表現している。

成果

自分の思いや考えを表現したり受け止めたりする語彙力や表現力といった能力が少しずつ育ってきているように思う。縦割り活動や地域の人との交流活動を通して、必要に応じたコミュニケーションの取り方を学びつつある。